

試料の熱伝導率を温度傾斜法(平板比較法)によって測定する装置です

● 主な特長

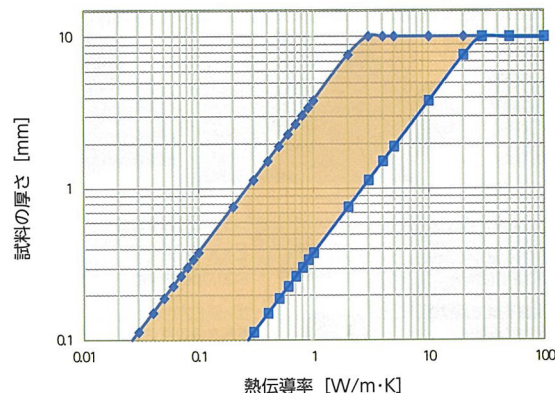
- 試料をセット後、熱抵抗及び熱伝導率の自動測定が可能
- 試料に対し加圧力状態(調整可)で測定し、さらに厚さも測定
- 最小厚みは0.05mm から測定可能
- 防護扉およびアラーム検出機能を設けており、安全に測定ができます。

※本装置はエアによる加圧制御をしているため別途エアコンプレッサが必要になります。



※この写真はIE-1237です。

● サンプルの温度を50°Cに設定した場合の例



※グラフについては、測定可能な材料の目安となります。詳細についてはお問い合わせください。

本体	
測定方法	温度傾斜法
測定項目	熱抵抗、熱伝導率、試料の厚さ
測定温度	30°C～130°C
試料サイズ	30mm×30mm (試料サイズについては別途ご相談ください)
試料の厚さ	0.05 ～ 10mm
熱伝導率	0.1 ～ 30W/mk (サンプルの厚みにより測定可能な熱伝導率は変わります)
外形寸法(mm)/ 質量	約305W×630H×280D 約37Kg (突起部を除く)
制御ユニット	
温度安定度	±0.2°C以内
変位計、指示精度	±5μm
アラーム検出	熱電対断線検出
	ヒータ温度ヒューズ
電源	100V 50/60Hz
最大消費電力	430VA MAX
外形寸法(mm)/ 質量	約370W×222H×450D / 約13.5Kg (突起部を除く)
エア制御ユニット	
試料加圧範囲	0.1 ～ 0.9MPa (試料サイズが30mm×30mm時) ※供給可能な圧縮エア圧力による
外形寸法(mm)/ 質量	約300W×250H×290D / 約12kg (突起部を除く)